

# 会務報告

## ◇ 委員会報告 ◇

### ● 大会委員会

◆2013年2月2日(土)、東方学会本館2階会議室において、2012年度第4回大会委員会が開催された。主な議題と審議内容は以下のとおりである。

1. 2013年度春季大会(立教大学)準備の進捗状況について

大会開催準備の進捗状況を確認した。使用教室の候補、当日のタイムスケジュール等の大枠が確認された。

2. 2013年度春季大会発表者の選考について

審査の結果、口頭発表32件、ポスター発表20件、パネルディスカッション6件、デモンストレーション5件を採用した。審査後、不採択者および条件付き採択者に送付するコメント執筆担当者、コメント取りまとめ担当者、発表会場の割振り案作成担当者などを決定した。

3. 2013年度秋季大会以降の企画・運営について

2013年度秋季大会の1日目午後の「大会委員会企画パネルセッション」のテーマ・内容について担当のワーキンググループから提案があり、質疑応答および意見交換を行った。

砂川委員長より2014年度春季大会は大学での開催、秋季大会はコンベンションセンターでの開催を検討していることが報告された。

また、今後、諸事情により秋季大会の日程を変更する可能性につき、意見交換を行った。

4. 今後の委員会日程について

次回の委員会は、2013年5月26日(日)に春季大会会場において行う。

(砂川 裕一)

### ● 学会誌委員会

3月2日(土)午後1時～5時15分、日本語教育学会会議室にて委員会を開催した。

154号・155号の刊行準備進捗状況について報告した後、第8回林大記念論文賞の選考結果について承認を得た。その後、以下について審議した。

1. 155号のコラム「海外の学会から」の原稿執筆依頼5件の決定。

2. 155号投稿論文(投稿総数52本(研究論文24、調査報告10、実践報告9、研究ノート9))の審査。

3. 158号特集の構成および告知文案についての検討。

4. 査読判定要領の改定についての検討。

5. 2013年度7月以降の学会誌委員会の運営体制および公益法人移行後に適用される委員会設置運営規程案の確認。

次回委員会予定：2013年6月22日(土)

(山内 博之)

### ● 研究集会委員会

◆ 研究集会実施報告

1. 2012年度第8回研究集会(東北地区)

日時：2012年11月10日(土)13:00-17:50

会場：弘前大学文京キャンパス

参加人数：23名(会員14名、一般9名)

内容：ワークショップ、研究発表(口頭4件)

ワークショップ講師：川村よし子氏(東京国際大学教授)

題目：「学習および生活支援ツールとしての『チュウ太』」

第I部の研究発表は口頭発表4件と少なかったが、年少者に対する第二言語としての日本語教育に関する発表が2件、言語習得に関する発表が2件で、内容に集中しやすい会となった。第II部は、参加者全員が実際にPCの前に座り、チュウ太を動かしながら、開発者でなければ分からない裏技を含め、チュウ太の様々な実践的指導法を学んだ。

発表件数、参加者共に多くは無かったが、東北の地方都市ではこのような機会が少なく、町同士が離れていることもあり、参加者からは勉強の良い機会であったという感想が聞かれた。また、参加者には、日本語教師のみならず、年少者の日本語教育実践に関心を持つ地元教育委員会の方の参加も得、よい意見交換の場とすることが出来た。

(報告者：鹿嶋彰)

2. 2012年度第9回研究集会(中国地区)

日時：2012年12月8日(土)10:00-17:00

会場：山口大学吉田キャンパス

参加人数：52名(会員44名、一般8名)

内容：講演、研究発表(口頭12件、ポスター7件)

講演講師：迫田久美子氏(国立国語研究所)

題目：「誤用に見る日本語学習者の知恵と工夫―指導へどう生かすか―」

講演では、日本語学習者はコミュニケーションにおいて行う工夫(誤用)とその理由、そこから見えてくる指導方法について、聴衆が参加する体験を交えながらお話をしていただいた。和やかな雰囲気の中、質疑応答も積極的に行われた。研究発表では、地域や大学での実践報告、対照研究、談話分析など、多岐にわたる内容について、口頭発表・ポスター発表で活発な議論が行われた。

(報告者：永井涼子)

3. 2012年度第10回研究集会(関西地区)

日時：2013年3月2日(土)13:00-17:30

会場：甲南大学岡本キャンパス10号館

参加人数：144名（会員101名，一般43名）

内容：講演，研究発表（口頭20件），

講演講師：仁田義雄氏（大阪大学名誉教授）

題目：「現代語文法研究の歩みと日本語教育—個人的史的な関わりの許に—」

講演においては，日本語文法研究史の素描として大槻文彦，橋本進吉，山田孝雄，松下大三郎らの研究に触れたあと，戦後の日本語文法研究史の系譜について，個々の研究者の研究を取り上げ個人的エピソードを交えながら分かりやすい概観が展開された。講師の仁田先生は，昨年（2012年）3月の大阪大学定年退職時には最終講義をされなかったとのこと。今回の講演は最終講義に代わるものと位置づけることができ，参加者からも仁田先生の「最終講義」が聴けて有意義だった，という声が多く寄せられた。研究発表は20件あった。4会場に分かれて，文法，語彙，談話，教室活動，教員養成，その他に関して特色ある研究発表がなされ有益な研究会となった。

（報告者：中島孝幸）

◆ 2013年度の研究会予定

1. 第1回研究会（九州地区）  
2013年6月1日（土）～2日（日）  
1日：活水女子大学，2日：長崎外国語大学
2. 第2回研究会（中部地区）  
2013年6月15日（土），名古屋外国語大学
3. 第3回研究会（北陸地区）  
2013年6月22日（土），石川県政記念しいのき迎賓館
4. 第4回研究会（北海道地区）  
2012年7月6日（土），北海道大学
5. 第5回研究会（関東地区）  
「実践研究フォーラム」  
2013年8月3日（土）～4日（日），武蔵野大学有明キャンパス
6. 第6回研究会（関西地区）  
2013年8月31日（土），京都外国語大学
7. 第7回研究会（中国地区）  
2013年11月9日（土），島根大学
8. 第8回研究会（東北地区）  
2013年11月16日（土），東北大学
9. 第9回研究会（四国地区）  
2013年11月30日（土），愛媛大学
10. 第10回研究会（関西地区）  
2014年3月予定，会場未定

※各地区研究会のプログラム，発表要旨，発表募集情報等は，日本語教育学会ウェブサイトの研究会ページに掲載しています。

<http://www.nkg.or.jp/menu-syukai.htm>

◆ 会議記録

1. 2012年度研究会委員会地区代表者会議  
（2013年2月12日）  
<審議事項>  
(1) 研究会ガイドラインについて  
<報告事項>  
(1) 2013年度の研究会計画  
(2) 各地区委員交代について
2. 2012年度第7回関東地区委員会（実践研究フォーラム実行委員会）（2013年3月26日）  
(1) 次期委員候補者について  
(2) 2013年度実践研究フォーラム  
・発表応募の選考・決定  
・セッション構成の決定  
・委員担当の決定  
・採択通知の確認  
・Web版実践研究フォーラム報告について  
・パネルセッションについて  
・今後のスケジュールの確認  
(3) 2013年度の会議日程の決定

◆ 次回会議日程

1. 2013年度第1回研究会全体委員会  
2013年5月26日（日），立教大学（春季大会会場）
2. 2013年度第1回関東地区委員会（実践研究フォーラム実行委員会）  
2013年5月7日（火），学会事務局

● 教師研修委員会

◆ 研修実施報告

1. 教室活動のデザインⅤ  
講座①「協働的読解活動のデザイン—創造的な学びの場づくり—」  
講師：館岡洋子氏（早稲田大学）  
講座②「学習者の作文分析を通して学び合う作文授業の構築—要約・書き換えからレポート作成へ—」  
講師：木戸光子氏（筑波大学）  
開催日：2013年1月13日（日）～14日（月・祝）  
会場：政策研究大学院大学  
参加者：講座①31名，講座②30名
2. 日本語教師のためのオンラインIT講座  
講師：中澤一亮氏（台湾・元智大学）  
監修：畑佐一味氏（米国・パデュー大学）  
アシスタント：伊東克洋氏（米国・パデュー大学）  
開催日：2013年1月28日（月）～3月22日（金）  
参加者：15名

◆2013年度の研修予定

1. イントネーションに焦点をおいた発音指導  
開催日：2013年6月15日（土），定員50名，早稲田大学
2. 夏季集中研修「教える・学ぶ・考える」  
一質的研究と学習環境デザイナー  
開催日：2013年8月10日（土）～11日（日）2日間連続講座，定員30人×2講座，東京大学
3. 日本語教師が知っておきたいシリーズ（テーマ：年次者）  
開催日：2013年10～11月予定，定員60人，東京
4. ワークショップ（テーマ：異文化）  
開催日：2013年11～12月予定，定員30人，東京
5. ワークショップ（テーマ：ビジネス）  
開催日：2014年1月～3月予定，定員30人，東京
6. 教室活動のデザインVI（テーマ：教室活動）  
開催日：2014年1月～3月予定，定員30人×2講座予定，東京
7. 日本語教師のためのオンラインIT講座  
開催日：2014年1月～3月予定，定員10人，オンライン

※上記はいずれも予定のため，研修タイトルや日時，会場等が変更する場合もあります。各研修の募集詳細は決定次第，日本語教育学会ウェブサイトの教師研修ページに掲載します。

<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>

◆会議記録

1. 2012年度第5回教師研修委員会（2月16日）
  - (1) 2012年度研修報告
  - (2) 2012年度各研修の企画および進捗状況
  - (3) 次期委員候補者選考について
  - (4) 2013年度教師研修企画
  - (5) 2013年度夏季集研修について
  - (6) 統計本について
  - (7) 委員会設置要項について
  - (8) 今後の会議日程

◆次回会議日程

1. 2013年度第1回教師研修委員会  
2013年4月13日（土），学会事務局
2. 2013年度第2回教師研修委員会  
2013年6月29日（土），東方学会会議室予定  
(古川 嘉子)

◇ 事務局からのお知らせ ◇

● 2013(平成25)年度会費納入のお願い

当学会の事業活動の円滑な推進を通して，会員をはじめ

関係者各位の教育・研究に資すること，並びに，海外における日本語教育活動との交流や支援に寄与することが一層求められています。学会の活動の重要性をぜひご理解賜り，会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

ご送金の際は，必ず会員番号を通信欄に明記してください。

<会費納入方法>

- 郵便振込 00140-5-64631
- みずほ銀行新橋支店（普）130-880757
- 現金書留
- クレジットカード支払（海外在住者のみ受け付けます。事務局にお問い合わせください）。

● 年度会費自動引落システムのご案内

日本国内に銀行口座等をお持ちの方々に，「年度会費の自動引落システム」をご用意しております。全国の金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・郵便局等）でご利用いただけます。詳しくは事務局会員サービス係（[kaiin@nkg.or.jp](mailto:kaiin@nkg.or.jp)）までお問合せください。

<年会費>

- 普通会員 10,000円（年度額）
- 賛助会員 一口50,000円以上（年度額）

● 住所等の変更について

変更事項を，郵便または下記のいずれかの連絡先にお知らせください。

FAX：03-5216-7552/E-mail：[kaiin@nkg.or.jp](mailto:kaiin@nkg.or.jp)

なお，メールアドレスを新設された方や，メールアドレスを変更された方は，①会員番号②氏名③名簿への記載の可否を，メールでお知らせください。タイトルは「学会員メールアドレス登録」としてください。電話での連絡は，ご遠慮願います。

● ご入会について

- 「会員」は(1)普通会員（入会金5,000円，会費年度額10,000円），(2)賛助会員（入会金なし，会費年度額1050,000円）があります。
- 「会員」は，専門誌の配布を受け，学会が主催する各種研修会，講演会，国際会議等に参加することができます。また，投稿，研究会等での発表ができます。
- 入会をご希望の個人または法人は，入会申込書を学会ホームページからダウンロードするか，学会事務局に請求してください。申込書に必要事項をご記入のうえ，学会事務局まで郵送してください。申込書が到着次第，ご入会の手続きをとり，会費の請求書を送らせていただきます。入会に関する詳細及び入会申込書のダウンロードは，学会ホームページ（下記）をご覧ください。  
<http://www.nkg.or.jp/guide/g-nyukai.htm>

● 学会誌メールアドレスについて

学会誌に関連するお問合せは，学会誌専用アドレスにご連絡ください。

学会誌専用：[gakkaishi@nkg.or.jp](mailto:gakkaishi@nkg.or.jp)